

平成23年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成23年12月7日(水) 北海道防衛局 4F 共用会議室	
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(前北海道教育委員会 委員長) 木下委員(公認会計士) 齋藤委員(弁護士)	
審議対象期間	平成23年8月1日 ~ 平成23年10月31日	
審議対象件数	43件	
1 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数10件	(審議概要) ・局担当者から契約状況、指名停止、低入札状況の説明 ・対象件数より抽出した10件の概要について局担当者が説明後、委員による審議
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件
	一般競争(政府調達協定対象外)	6件
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	4件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【指名停止状況説明】 ・特になし 【低入札状況説明】 ・特になし</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事等(北海道局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>a [上富良野(23)宿舎改修建築その他工事]</p> <p>・この案件は、あまり特殊性のない宿舎改修工事にもかかわらず、1者応札となった理由は、場所がへき地であるとか、何か考えられるか。</p>	<p>・当該工事場所は旭川市に近く、もっと参加業者があるものと予想していたが、結果的に1者となった。 居住者が居る状態での内部改修工事であり、請負業者においても居住者との具体的な調整を図りながら施工することが手間が掛かり負担と考え、参加者が1者となった理由のひとつと考えられる。</p>

	<p>b [稚内(23)保管ヤード新設 土木工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回目の入札金額で、かなり大きく入札金額を下げてきたが、何故か。 <p>c [旭川(23)既設建物解体工 事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者辞退しているが、どのような理由か。 ・低入札となった理由は。 <p>d [多田(23)構内外線等整備 工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となった理由は、どのようなものが考えられるか。 <p>e [真駒内(23)看護学生隊舎 等建築設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式(簡易型)の流れについて説明 <p>f [千歳(23)誘導路整備土木 設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易公募型プロポーザル方式の流れについて説明。 	<p>本件以降の改修工事等の事案については、大都市（札幌市、旭川市）以外の工事場所については、参入者の拡大を図る観点から参加要件の間口を広げ(例えば、CランクをB, Cランクに)するなど、対策を講じたところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補足説明を行ったことによるものと思われる。 ・同時期に入札を行った他工事を受注したため、配置予定技術者が配置できなくなった。(同一人物を複数の工事に配置予定していたため。) ・解体工事の実績を確保したかったこと及び工事場所が自社から近く、資機材を自社で保有していることなど経費削減を図れるためと聞いている。 ・工事規模も小さく、小額であることが理由のひとつと考えられる。なお、競争性の確保を念頭に、同種実績の要件や、ランクの間口を広げるなど(CランクをB, Cランクに)、より多くの参加者が得られるよう参加資格要件を緩和したが、結果的に1者となった。
--	--	---

	<p>・第2回目、第3回目の見積合わせで、大きく金額が下がっているが何故か。</p> <p>○建設工事等(帯広支局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>a [網走(23)保管施設整備土木工事]</p> <p>・予定価格をわずかに超過して落札対象者とならなかった2位の業者が、もし予定価格を超過していなければ、評価値の逆転の可能性(総合評価方式は、価格評価点と技術評価点により評価値が算出されるため)は無かったのか。</p> <p>b [鹿追外(23)電波受信施設撤去工事]</p> <p>・1者応募だが、当該業者以外の参加は見込めなかったのか。</p> <p>c [根室(23)既設建物等解体調査設計]</p> <p>・低入札調査の結果は、どのような内容であったのか。</p>	<p>・補足説明を行ったことによるものと思われる。</p> <p>・予定価格の範囲内で、入札価格の状況によっては逆転もあり得る。 本件では、落札業者が技術評価点も1位であったことから逆転の可能性は少ないが、御指摘の2位業者の価格が、落札業者の価格よりも相当安価であれば(価格と技術を含めた評価値が最も高値となる価格の場合)、逆転もあり得る。</p> <p>・当該事案は、再公告したもので、最初の公告における入札には、今回の応募業者も参加し2社で行われたが、予定価格との開差が大きく不調となった。 これを踏まえ本件の再公告にあたり、「見積りを活用する積算方式の導入」を取入れたが、共同受信施設の撤去工事という内容及び工事規模も小さく、小額であることから応募者が1者となったものと思われる。</p> <p>・本件業務内容は、既設建物の解体に係る建築と設備設計である。 ・低入札調査の結果 ①建築及び設備の設計を全て自社で行うことで、経費削減が可能とのこと。 ②他局での同種実績もあり適正な履行がなされていること。 このことから、低入札ではあるものの、工期内の適正な履行が可能と判断したものである。</p>
--	---	--

	d [帯広(23)局舎新設等建築設計]	
	・参加表明が1者となった理由は、どのようなことが考えられるか。	・今年度から設計業務において、簡易公募型プロポーザル方式を採用したことから、本方式に不慣れな業者側が敬遠したことも理由の一つと考えられる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	[意見の具申等] ・特になし	[回答]

2 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
	談合疑義件数	－件	(審議概要) ・該当案件なし
工事	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
業務	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	

委員会による意見の具申又は勧告の内容	[意見の具申等] ・特になし	[回答]
--------------------	-------------------	------

3 入札結果の事後的統計について		
審議概要	・順位傾向、落札率、応札率、低落札について説明	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	[順位傾向] ・特になし [落札率・応札率] ・特になし [低落札] ・特になし	